

揚重作業中、吊り荷の下には立ち入らない！

～「上下作業の禁止」、「吊り荷の下には入らない」を徹底しましょう～



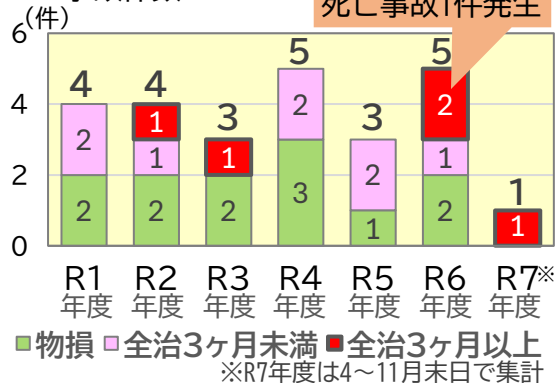
▷飛来落下事故（事故防止重点項目）は毎年発生しています。

▷R6年度には、クレーン作業での吊り荷（鋼製柱）が落下し、下にいた作業員が死亡する事故が発生。

▷吊り荷の下に入る行為は命に関わる重大な事故に直結します。軽いケガでは済まないことを認識してください！

“上からの危険”を常に意識し、近づかない・立ち入らないの基本行動で事故を防ぎましょう。

資材・仮設材及び工具の飛来落下
事故件数



事故事例 吊り荷の鉄柱が落下し、下にいた作業員に接触

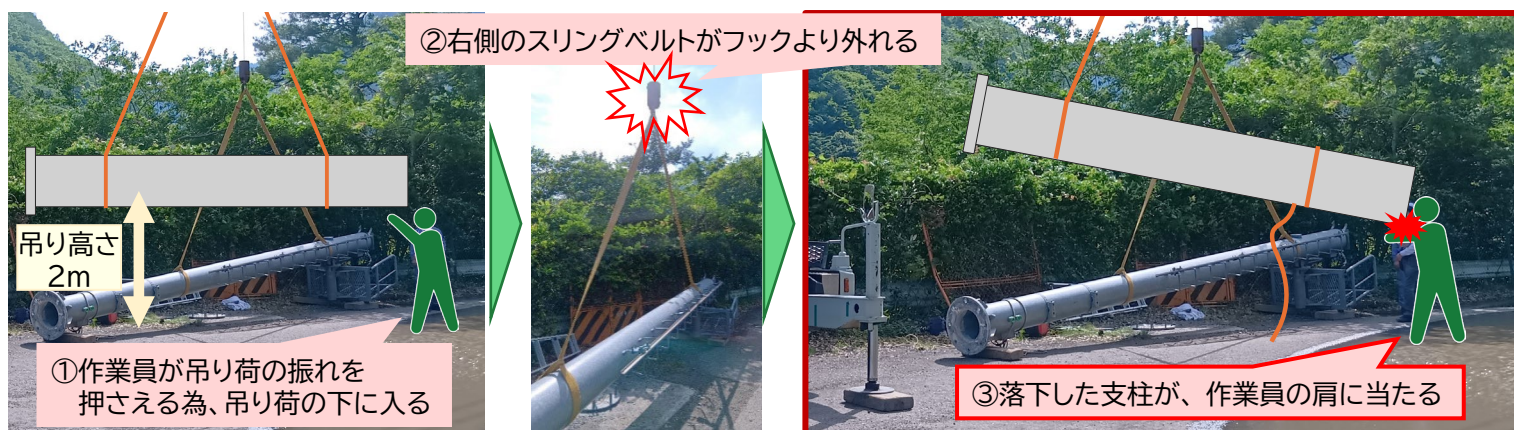
【事故概要】 クレーンでの鉄柱の積み込み作業で、スリングベルトがクレーンフックから外れ、吊り上げていた鉄柱が高さ2mの位置から、下にいた作業員の肩に落下し、負傷した。
被災した作業員は、吊り荷を安定させる為、手で振れを抑えようとして、吊り荷の下に入っていた。
なお、スリングベルトが外れた原因は事故後の現場検証においても不明。

【主な要因】

- ① 吊り荷が落下することはないと作業員が油断、吊り荷の下に入ってしまった。
- ② 作業計画には、作業員の配置計画、危険を伴う作業内容、現場状況、施工上の注意事項等の詳細は記載されていなかった。

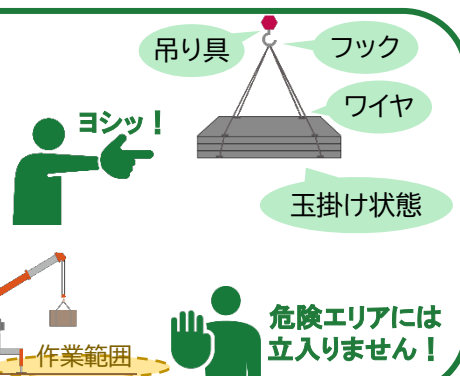
【再発防止策(受注者)】

- ① 下請け業者を含めた作業関係者全員で再発防止対策会議を開催、再発防止に向けた認識を合わせる。
- ② 吊り作業では「介添えロープ」を使用することとし、作業計画に記載する。
- ③ 吊り作業の方法や注意事項を作業計画に記載し、作業前に読み合わせ、作業員に周知徹底する。



・作業前に、吊り具・ワイヤ・フック・玉掛けの状態を、必ず点検しましょう

- ・揚重作業に関わる作業員同士でコミュニケーションを密に取りましょう
- ・吊り荷の作業範囲から距離をとりましょう
- ・周囲の人にも声かけし、危険エリアに入らせないようにしましょう



近畿地区建設工事安全対策推進協議会の 合同安全パトロールを行いました

令和7年11月19日、近畿地区建設工事安全対策推進協議会※（舗装部会）において、舗装工事の現場で合同安全パトロールを実施しました。当日の指摘事項と改善策等を紹介しますので、各現場における安全点検の参考にしてください。

※現場における事故の実態並びに安全管理上の問題点を明らかにし、これに対応した具体策の検討を行うため、国土交通省と工事を施工する建設業界とが、直接、意見交換をする場として「近畿地区建設工事安全対策推進協議会」が設けられています。本合同安全パトロールは、（一社）日本道路建設業協会関西支部と近畿地方整備局が合同で行いました。

指摘事項とその対策



誘導員かどうか
が判りづらい



是正前



是正後

「誘導員」と明示するベスト
を着用するようにしました



どこまでが資材置場
が判りづらい



是正前



是正後

カラーコーンを配置して
明確化しました



昇降部の出入口に
耐荷重量を記載し
た方が良い



是正前



是正後

昇降部の出入口に
耐荷重量を記載しました



充電中のバッテリーから発火する事故が発生 リチウムイオン電池の使用には注意してください！



充電器に電動工具のバッテリーを
セットし、数分後に発火する事故が
発生しました。

互換バッテリーの使用や、強い衝
撃によって変形・劣化したバッテ
リーは、発火する恐れがあります。

充電式電動工具用非純正
バッテリーの発火（再現イメージ）



電動アシスト自転車用非純正
バッテリーから発火する様子
（再現イメージ）



出典：消費者庁 令和6年6月27日ニュースリリース

リチウムイオン電池は取扱いを誤ると、発熱・発火などの事故につながる危険性があります。

- リチウムイオン電池には、強い衝撃等を加えないようにしましょう
- 非純正バッテリー（互換バッテリーや純正充電器対応バッテリーを含む）には、高リスクのものをあることを認識しましょう

詳しくは消費者庁HPをご確認ください

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_083/

